

令和8年度(2026年度)

# 進路だより

未来を切り拓く たくましく 心やさしい 子どもたちへ

札幌市立真栄中学校

第18号

令和8年(2026年)6月2日

## ★わたくしの進路★

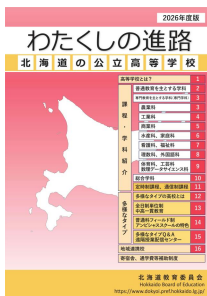
4月24日(金)に実施いたしました学年PTA集会の資料でお知らせしておりました。

北海道教育委員会のWebサイトですでに閲覧された方も多いと存じます。

ようやく冊子が届きましたので、学級に2冊配付しました。自由に閲覧してください。

以下の違いがわかりやすく説明されています。

- ・全日制課程・定時制課程・通信制課程
- ・普通科・専門学科(商業科・理数科など)・総合学科
- ・学年制・単位制
- など



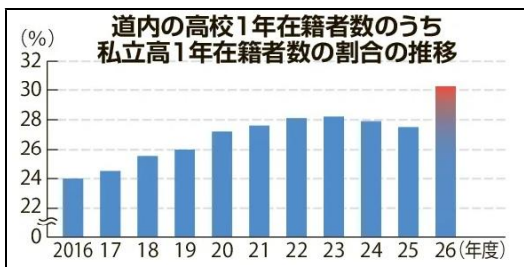
## ★高校授業料実質無償化の影響分析★

北海道教育委員会は、先月29日(金)、高校授業料実質無償化による道内での影響分析(速報)を公表しました。

ネットニュースや新聞でも大きく取り上げられていましたので、概要を紹介します。

○2026年度私立高校1年生在籍者数は前年度比936人増の10,415人で、道内の高校1年生に占める割合は同2.7ポイント増の30.2%となり、初めて30%を超え過去最大の伸び率となった。

○つまり、公立高校1年生の割合は70%を下回り、公立高校1年生は951人減の24,044人だった。学級数が減る40人以上の欠員が出た公立高校は、前年度より14校多い30校だった。



↑北海道新聞5月30日(土)版より↑

## ★2026新しい学校選びフェア★

ポスターを掲示しました。

8月1日(土)、10月31日(土)、12月19日(土)、各日12:00~16:00、札幌コンベンションセンター(白石区東札幌6条1丁目)にて開催、と記載されています。後述する『私立高校ミニガイド』の58・59頁に同様の案内が掲載されていますので御確認をお願いいたします。

## ★『私立高校ミニガイド』★

全員に配付します。前掲「新しい学校選びフェア」を主催する「特定非営利活動法人高校生進学支援の会」が発行した50頁超の小冊子です。

保護者の皆さま、御一読をお願い申し上げます。さて前述の、北海道教育委員会の公表内容のとおり、昨今、私立高校の人気の高まっています。高校授業料実質無償化につきましては、この小冊子26・27頁を特に御参照いただけましたら幸いです。

- また、以下の内容も是非御確認ください。
- 30・31頁 その他の給付型・貸与型の支援制度
- 32~40頁 各校の特待生制度・奨学金制度

~具体的に、○ランクで全額、○ランクで半額、などという記載がある高校とない高校があります。多くの私立高校のWebサイトでは、まだ募集要項がアップロードされていません。9月までには出揃うと思われます。募集要項には、その高校の特待生制度・奨学金制度がすべて掲載されます。昨年度(現高校1年生の入試)の募集要項はすべて保管しておりますので、貸出ができます。御希望がございましたら、係へお声がけください。



## ★高校講演会★

先日の講師をお務めいただきましたT先生に、3年生の皆さんからの質問をお伝えしましたところ、御丁寧に御回答をいただきました。心より感謝申し上げますとともに、こちらで紹介します。

### ◎グローバルコースでは、英会話のレベルはどのくらいまで上達しますか？

→人によりますが、英検でいうと準1級を目指す生徒もいます。最低でも英検2級は合格したいところです。

### ◎メディカル・フレップコースの具体的な学習内容が知りたいです。

→普通科なのに、日本医療大学の先生の専門的な授業や実習を受けることができる。医療系の指定校推薦が豊富。2年間同じ目標を持った人と一緒に過ごすことで、刺激を受けたり情報交換などがしやすい。

### ◎御校に入学、吹奏楽部に入部したいと思っています。どんな練習内容ですか。音出し時に意識すべきことは何ですか。基礎練習のおすすめ方法がありますか。

→本校ではJBCのバンドスタディを使って基礎練習をしています。とにかくいい音、正しい音程で演奏できるように、毎日特訓しています。是非、オープンスクールに来てください。お待ちしております。

### ◎T先生が中高生の頃にやっていたオススメの学習方法を教えてください。

→今の時代だったら、ということを書かせていただきます。勉強はわからないところをいかに定着させるかが大切です。ワークの誤答箇所だけ取り出してまとめる、社会は声を出して教科書を何度も読み込む、英語の教科書本文を見ないですべて言えるくらいにするなど。ワークの間違った問題だけ翌日にやってみる、数日後もまたやってみる、そして定着させる。定着できたかどうかは、その問題の写真を撮って、A Iに出題の仕方が違う問題を何パターンか提示してもらい確認する。わからない問題は、A Iに中学生でもわかるように解説して、と頼む。それでもわからなければ、まだここがわからないと質問を繰り返す。